

◎小学生の部

その他の良い作品

「ぼく達の先生は田舎教師」

三田ヶ谷小学校 六年

岩崎 朱里

ぼく達の先生は芸人みたいにゆかいな人だ
授業中 突然面白い冗談を言う
だからみんなが思わず爆笑する
いつも 楽しくわかりやすい授業をする
授業中 必ず全員に質問をする
いつも みんなを平等にと考えている
昔 羽生には田舎教師がいたという
ぼく達の先生は 本当に楽しい田舎教師だ
ぼく達の先生は心許せる友達のような人だ
休み時間 みんなの雑談にもものつてくる
だからみんなすごく楽しくなる
いつも みんなが心を開くよう考えている

休み時間 今日も宿題を見ている
いつも 心に残るコメントをくれる
昔 羽生には田舎教師がいたという
ぼく達の先生は 本当に優しい田舎教師だ

ぼく達の先生は誰にも好かれる大将だ
掃除の時間 一緒に掃除もしてくれる
だからみんながのびのびと動き出す
いつも 一人一人の事を心配している
掃除の時間 特に自主性を大切にする
いつも やる気が出るのを信じ待っている
昔 羽生には田舎教師がいたという
ぼく達の先生は 辛抱強い田舎教師だ
ぼく達の先生は決して飾らない
朝の時間 朝から決して小言を言わない
だからみんながやる気満々になる
いつも 上手にほめたり叱ったりする
給食の時間 嫌いな納豆を堂々と残す
いつも 自分の欠点をさらけ出す
昔 羽生には田舎教師がいたという
ぼく達の先生は 人間臭い田舎教師だ

春さがし

手子林小学校 二年

岡戸 孝太朗

晴れて気もちがいい日
生活のしゆくだけで
春さがしに出かけたよ
外に出ると
みどりあふれた自ぜん
家のにわには
たんぽぽ、ほとけのぎ、
すこし歩いた先の土手には
なの花、しろつめ草
土手で見つけたからすのえんどうのみは
本当にさやえんどうみたいだった
虫もいっぱい見つけたよ
ぼくのすきなてんとう虫
もんきちょうにもんしろちょう
にわのあじさいのえだには
かまきりのたまご！
たまごからは
かまきりの赤ちゃんが
たくさん出てきていたんだ

なんてにぎやかなんだろう
春つたのしいな
みどりのはっぱに
白、黄色、青の花
てんとう虫の赤
春さがしで
きれいな色をたくさん見つけたよ
ぼくのまわりには
春がいっぱいあった

忘れてはいけない大切な物

羽生北小学校 六年

木部 日良地

ぼくのおばあちゃんが生まれ育った家
それは利根川のすぐそばでも大きな家
広い庭にはたくさん草花や木がある
その中でも一番大きなシンボルの木
樹れい何百年もの太くて空を突き破りそう
なくらい高い木
「クスの木」
この木は古い昔から守られてきた木
ある年利根川の堤防工事のため
その家や草花 木 全てを取りこわす日が
やって来た
それでもクスの木は最後の日まで残った
あまりの大きさに職人さんが何人もで
切り倒すことになった
ぼく達はそのしゅん間を見ようとその場に
かけつけた
「ドスン バタン」
ものすごい大きな音を立てて切り倒された
ぼくの横にいたおばあちゃんは

ハンカチを口にあて目を赤くして泣いた
ぼくはその時おばあちゃんが泣く意味を
そこまで理解できずにいた
それから数日が経ちぼくの家の庭に
何かが運ばれてきた
それはちよこんと座れるくらいの丸太
どこかで見えたことのある
木とにおいだった
ぼくのおばあちゃんの願いで
あのクスの木からイスを作ったのだ
そのイスはぼくの家の庭にかざられた
おばあちゃんやぼく達は
毎日そのイスを見るたびに
今は亡きひいおじいちゃんおばあちゃん
そしてあの古くて大きな家
全てが取りこわされたあの日
昨日のことのように思い出せる
そしてこの大切なクスの木
これからぼく達がずっと守り続ける

みんなに早くあいたい

手子林小学校 二年

小針 彩花音

三月から学校が休みになった
きゆうにおともだちとあそべなくなつた
おべんきょうもいっしょにできない
先生がおしえてくれるおべんきょうが、
たのしかった
だから学校にいきたかつた
四月になるのがたのしみだつた
二年生になつて
あたらしい一年生がくるのが
たのしみだつた
あたらしいクラスや
先生がだれなのか
どきどきわくわくしていた
しぎょうしぎの日
二年二くみになつた
たのしくべんきょうしたいな
あたらしいべんきょうも
がんばろうとおもつた
でもまたコロナがひろがらないように

休みになるときいた
じぶんだけをまもるだけじゃなく
みんなをまもるために
おうちにいるのがたいせつ
だからおうちにいるのをがんばる
手あらいうがいもきちんとやつた
早くみんなにあいたいな
コロナが早くおさまつてほしい
学校にいきたい

ひいじいちゃんの手

手子林小学校 四年

高鳥 優空

わたしのひいじいちゃんは
夏の暑い日も
冬の寒い日も
外で畑仕事をしている
野菜や果物を作っているから
くわを持って植えたり
しゅうかくしている
だから ひいじいちゃんの手は
ガサガサ ゴツゴツしている
指が太くて きずだらけだ
そんな ひいじいちゃんの手だけれど
ときどき 頭をなでられると
すごく優しく感じる
ひいじいちゃんの手は ふしぎだなあ
庭には うめの木や みかんの木
ほかにも たくさんの木がある
畑にいない時
大きなはさみを持って
大工さんのように

木を切ることだってある
だから ひいじいちゃんの手は
日やけして 黒いシミやシワだらけ
つめの中は 土で真っ黒け
そんな ひいじいちゃんだけれど
絵をかくと
とても上手で きょうで
すてきな風景画が出来上がる
ひいじいちゃんの手は ふしぎだなあ

サイクリング

手子林小学校 二年

田中 恒輝

はじめのどね川サイクリング
前の日の夜は、
ドキドキしてねむれなかった
自てん車でおくまで行ったことがない
本とうにこげるかな？
朝、お母さんがおべんとうを作ってくれた
外は晴れて気もちがいい
先とうはお父さん、ぼく、お母さん
ぼうけんのたびに出ばつだ
ひつしにこぐペダル
お父さんと間があかないようにがんばった
道のえき羽生についた
せき口先生のひの前のボタンをおすと
「ああ、上のえき」がながれた
すてきな曲にまわりにいる人も
心がはずんでいた
川またしめきりあと
目をとじれば、大むかしどんな生かつをして
いたかそうぞうするのがたのしい

おべんとうは土手でたべた
一めんなの花ばたけに電車をながめながら
ぜいたくなけ色
まるでおとぎのせかいにまよいこんだようだ
こんなすてきな町
お父さんから
「恒輝に、このけ色をみせたかったので
サイクリングにつれてきたんだよ」
とおにぎりを食べながら話してくれた
ぼくは、
「ありがとう」
と話した
かえりは、ちようちよときよう走
たくさんの人から
「がんばってペダルこいでね」
と話しかけられた
心がポカポカになった
すてきな町、人にささえられて
ぼくは、しあわせな一日だった

あいいろの町

須影小学校 三年

西村 瑛太

ぼくの町には、海がない。
田んぼや畑のみどり色

でも、本当は、ふかいふかい海の色の町
ぼくのふる里は、あいぞめの里

絵の具のあいいろとちよつとちがう
絵の具のあいいろよりもうすいような、
こいような、夜のようなふかい青
ぼくにとつて、大好きなおばあちゃんが
教えてくれた色
あつい夏のおばあちゃんのハンカチの色

何度も何度もそめて、青からあいいろにな
るんだって
たくさん時間と、手まをかけて作る色
世界でたった一つの色になる
昔は町中で見ることが出来た
あいいろ

ぼくは、その時を知らない

ぼくは、あいいろが好き

ぼくの、世界でたった一つの、ふる里の色
いつか、ぼくの子どもにも見せてあげたい
なくならないでほしい色

ぼくの町には 海がない

でも、ぼくのふる里は
ふかいふかい海色の町

ぼくは あいいろの町が好き

ぼくのピニャータ

手子林小学校

二年

堀田 アンジェロ

ぼくのたん生日の日

あさから、大いそがしのお母さん

家の中のかざりつけに、ドタバタ。

ぼくのすきなカレーのにおいがプン

リピングにつるされたスプラトウ

「あっピニャータだ」

ピニャータはおかしやおもちやが入っている

かみの人ぎようだ。

日本でいえば、くす玉のようだ。

ぼうで、たたいてわるゲーム

まるでスイカわりをしているようだ。

ぼくのお父さんの国ではでんとうぎようじだ。

ぼうで、ピニャータをつよくたたくぼく、

おちてくるおかしをまつ、妹たち

うたいながらおどるお父さん

ビデオをとるお母さん

ピニャータには、わるいものをおいはらう
日本でいう「やくよけ」だという。

だから、たん生日にピニャータをよういする
のには、大きなみがある。
ついにピニャータがわれた。
中からたくさんのおかしやおもちや。
ぼくと妹たちは、ひろうのにむ中。
そのあと、大すきなカレーとケーキを
みんなで食べた。
とても楽しかった。

きょうはぼくがうどんやさん

手子林小学校 一年

眞秀

陽大

ぼくははじめて
こなからうどんをつくったよ
うどんのこなをさわったら
ふわふわふわ
とってもきもちいい

こなにみずをいれたら
べちやべちや
でも だいじょうぶ
こねて こねて こねて
なかなかひとつにまとまらない
こんどはふくろにいれて
あしでふみふみ ふみふみ
ぱちん
ふくろにあなたがあいちゃった
つくるのはたいへんだな
やまとまるくなつたあと
おかあさんがうどんをねかせた
うどんってねるんだね

そのあとにはめんぼうで
ころころころ
おおきなまるになった
ほうちようできるのが
いちばんたのしい
いろんなふとさになっちゃった
ゆでてたべてみた
かたいけどおいしかったよ
こんどはもつと
おいしいうどんをつくりたいな

いちねんせいになったぼく

手子林小学校 一年

持田 篤人

だいすきなこどもえんを
そつえんした
やさしいせんせい
なかよしのともだち
たくさんのおもいである
しあわせなぼしよ
さよならがかなしくて
ぼくはないた
あたらしいばしよで
ともだちができるかな
べんきょうつて
むずかしいのかな
ぼくはたくさんふあんになった
けど
おじいちゃんがプレゼントしてくれた
かっこいいランドセルが
ぼくのしんぱいなきもちを
やっつけてくれた
はやくランドセルをしょって

がっこうにいきたいな
ちやんとあいさつをしよう
だれにでもやさしくしよう
いつもえがおでわらってしよう
ママがおしえてくれた
みんなとなかよくなれるやくそく
そのやくそくが
ぼくにゆうきをくれる
いちねんせいになったぼくは
すこしつよくなったきがする

カラフル

井泉小学校 二年

矢島 光希

さぼくの町ってきれいだな
さんぽしてると見つけるよ

はるの田んぼは 空の色
なつの田んぼは みどり色
あきの田んぼは こがね色
ふゆの田んぼは 土の色

さぼくの町ってきれいだな
さんぽしてると見つけるよ

はるのあじみは ピンク色
なつのあじさいは むらさき色
あきのどんぐりは こげちゃ色
ふゆには花は見ないけど
はるになつたらさかせてね

さぼくの町ってきれいだな
さんぽしてると見つけるよ
はるはまっしろ もんしろちよう
なつはまっしろ かぶと虫

あきはまっかな あかたんぼ
ふゆにはいきもの見ないけど
はるまでゆつくりねていてね
ぼくの町ってきれいだな
いろんな色にあふれてる